

五竜岳・遠見尾根 山行報告



【山域】北アルプス北部 後立山連峰

【日時】2019年3月29日～30日

【参加者】佐藤(健)CL 齋藤SL 松本 森田 小宮山 岸野 宮城(記録)

【タイム】

3/29(金) 8:35 テレキャビンとおみ駅～アルプス平駅～展望リフト～9:15 地藏ノ頭
～12:10 小遠見山～13:10 中遠見山～14:20 大遠見山の少し手前

3/30(土) 8:30 テン場～9:25 中遠見山～10:15 小遠見山～11:30 アルプス平駅

【報告】

当初は残雪期の五竜岳に挑戦の予定でしたが、残念ながらお天気は下り坂。
佐藤隊長の英断の結果、今回は冬の遠見尾根テント泊トレッキングとなりました。

28日(木) 9:30 船橋を出発。中央道談合坂SAで千葉出発の松本車と合流して、
1:30 道の駅アルプス安曇野ほりがねの里に到着。話が弾んで3:00に就寝。

29日(金) 6:00 起床。コンビニ朝食の後、白馬五竜スキー場へ。

「昨日ソロで入った人がいますが、滑落か死亡してたら知らせて下さい」

テレキャビン→展望リフトへの乗り継ぎ時、パトロールの方から強烈なセリフを聞かされての出発です。

トレースはゼロ。一旦下ってからラッセル急登が始まります。

降雪や強風はないものの、お天気はイマイチ。

右に八方尾根、後ろに妙高山や火打山が見えたと思ったら、すぐにガスったり。

不安定なお天気に、赤布のデポ旗を立てながらの行程です。

そんな中、小遠見山の手前で直登を避けてトラバースしようとする、つるつるカチカチの足場に進退窮まる状況に！

直前に出したピッケルを頼りにゆっくりと後ずさり、後ろにいた隊長が付けたトレースを踏んでピンチを脱出。個人的には、今回一番怖かった場所でした。

小遠見山から気持ち良く下って、ちょいちょい出てくるヤセ尾根の雪庇には経験豊富なGが後方からアドバイス。中遠見山のケルンに出会えます。

その後もアップダウンを繰り返しながら芸術的なナイフリッジ雪庇を慎重に進み、本日の山行は終了。大遠見山の少し手前でテントを張ります。

知らないうちに一番の重荷を背負わされた？きっしーには、食担こみちゃんが用意したケーキによるお誕生日会の労いです。天候不良のため翌日下山を決定したこともあり、美味しいキムチ鍋に2日分のお酒を堪能して盛り上がったのでした。



ケーキにお酒、
合うよね



担ぎ頭、大好物の生クリームでお祝い

30日(土) 5:30 起床 食担松本さんによる美味しい朝食。
今夜の夕飯だったはずのキノコ鍋は、朝から大変ゴージャスでボリューム満点です。
ゆっくりと出発準備をしたら下山を開始します。
こっそり期待してた昨日のトレースは見当たりません。
交代したラッセル先頭で張り切っていると、「あれ？こんなとこ通ったかな」
止まって位置確認する私に、「こっちだな」と後ろからのお助けボイス。
雪庇の見極めだけでなく、下山時ルーファイの難しさも実感します。
こみちゃんが休憩中にユーミンのBLIZZARDを口ずさむと、次第に天候が悪化。
降雪、横殴りの強風、一時的なホワイトアウトまで・・・(笑)
小遠見山の手前ですれ違うソロの男性を「お気をつけて」と見送り、恐怖を味わった先
の下りは真っすぐクライムダウン。
スキー場の端っこを下ってアルプス平駅に到着した時は、心からホッとしたのでした。

五竜岳に登頂出来なかったのは残念ですが、また一つ雪山の経験を積んでお利口さん
になれた気がします。
「バカじゃないんだよなあ」のブチ流行など、今回も盛り沢山でとっても楽しい山行でした。
佐藤隊長はじめ、皆さま、ありがとうございました。



隊長直轄
わかん隊女子部

GOGO !
五竜戦隊ごりゅーじやー



